

## 子どもの健康と生活についての調査

イランの子どもさんとの国際比較研究へのご協力をお願い

2005年11月から12月にかけて、東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野准教授（当時）上別府圭子らが実施いたしました「子どもの健康と生活についての調査」へご協力くださいました、当時8歳から18歳までのお子様（小学生・中学生・高校生）と保護者様へ

その節は、アンケート調査にご協力くださりまして、まことに有難うございました。おかげさまで、子どもさん自身でも保護者さんでも回答することのできる、子どものためのQOL（生活の質）調査用紙を開発することができました。この調査用紙は、さまざまな健康状態の子どもたちが、よりよい治療や看護を受けるための研究に用いられるようになりました。皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。

この調査用紙はさまざまな言語で開発されています。このたび、イランにあるシーラーズ医科大学のジャファリ准教授との共同によって国際比較研究を行うことになりました。この研究では、皆さんと同じ年代（8歳から18歳まで）のイランの子どもさんと保護者さんにペルシャ語の同じ調査用紙を用いて行った調査結果と、日本の皆さまの調査結果を用いて、保護者さんによる子どもさんの健康への回答傾向を、二国間で比較検討します。このような研究の積み重ねによって、子どもの健康と生活についての国際研究が、より現実に即した形で可能になります。

この新しい研究によって、皆様に新たにご負担をかけることは一切ありません。2005年にいただいた皆様からの回答を、数字だけの一覧表にして、シーラーズ大学に送ります。個人を特定できる情報は、一切、含まれていません。また皆様からの回答を、本研究の目的以外に使用することは絶対のない旨、誓約書をいただいています。研究終了後は、この一覧表は、シーラーズ大学のPCから完全に削除していただきます。

以上をご理解いただきたく、どうぞ宜しくお願いいたします。

2013年10月21日

東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野教授  
QOL研究センター代表 上別府 圭子